

【新規格付け】 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

第6回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 AA
第7回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 AA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

鉄道新線の建設や鉄道会社、国内海運会社などの施設整備を支援する独立行政法人。運輸施設整備事業団と日本鉄道建設公団が統合し、2003年10月に独立行政法人として発足。整備新幹線の建設をはじめ、鉄道や国内海運を中心とした主要業務を引き継いでおり、運輸行政の中核を担う。

鉄道建設技術スタッフの規模・質は日本でトップクラスにあり、土木・軌道・電気・運転設備や用地業務などの総合的なノウハウを兼ね備える。第三セクター鉄道会社と国内海運会社向け債権の一部の回収が遅れており、リスケジュールに応じている。もっとも、鉄道会社向けでは国・関係自治体が一体となり回収計画を組んでいる。運輸行政における鉄道・運輸機構の重要性を勘案すれば、機構が多大な負担を強いられる懸念は小さい。

北海道新幹線など整備新幹線の新区間については、2005年度からの着工が決まっている。建設費は国の補助金と地元自治体の負担金のほか、将来の既設新幹線譲渡収入を返済原資とした有償資金で調達する計画だ。ただ、実際の投資額は前倒しで調達した資金のうち金利相当分を差し引いた金額となるため、鉄道・運輸機構には従前同様、負担は生じない。

船舶勘定は国内海運会社の厳しい経営状況を背景に未収金が増加し、2005年3月期末で458億円の債務超過となっている。ただ、2005年度予算で40億円の政府出資が決定し、2009年度までの重点集中改革期間中に船舶勘定は総額200億円の出資を受け入れる。債務超過の解消に向けた取り組みが国土交通省と一体で進められている。

【格付け対象】

発行者：独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

名称 第6回、第7回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券

発行額 第6回=381億円、第7回=150億円

発行日 とともに 2005年11月22日

償還日 第6回=2009年12月21日、第7回=2015年09月18日

表面利率 第6回=0.84%、第7回=1.69%

格付け とともに AA(新規)

受託会社 みずほコーポレート銀行、三井住友銀行

担保 一般担保

備考 商法の規定に基づく社債管理会社でなく、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法に基づく受託会社を置く

発行体格付け： AA [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR & Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。